

平成29年度長野県農業大学校評議委員会ご意見・ご提言

長野県農業大学校

領域	対象	評価項目	ご意見・ご提言
		総括	<ul style="list-style-type: none"> <li>○実践経営者コースに入学生が集まらない原因をどう考えるか。社会全体の人材不足、各就農ルートでの人材取り合いとなっているが、全国的にも就農者の確保が競争になっている。他県に負けない長野県の方角を作っていただきたい。</li> <li>○少子化が進む中で、新規就農者を確保するためには、農業高校がその役割を認識する必要がある。その前提として農業高校、農業教育が存続する必要があるが、そのためにも引き続き農業大学校と連携を図っていききたい。</li> <li>○地域おこし協力隊員が各地域にて活動している。隊員を農業に導く方策はないのか。農業に関わり地域に残る人もいる。農大として隊員へのアプローチも一つの道ではないか。</li> </ul>
教育活動	学習指導	授業実習内容の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>○農業高校では農業経営の授業がほとんどなされていないのが現実であるので、農大では「農業経営」をしっかりと教えて就農に結び付けてほしい。</li> <li>○若い農業者、農業で成功している人の話を聞かせることによって、意欲あるものを育てることが必要である。県内外も含めて、農業に夢があることを聞かせるようにしていただきたい。</li> <li>○現地体験実習来ている農大生に高校生の指導をさせたが、非常に良い研修になった。農大生と農業高校生の研修が合うようなプログラムができれば、研修効果が高まると思う。</li> <li>○授業アンケートについて、その結果前期に比べ後期の評価が改善している。非常に良い取り組みである。</li> </ul>
		実践経営者コース運営の円滑化	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学生の授業態度の問題、自立性の欠如が指摘されている。どのような状況でこのようになるのか。検討、指導を願いたい。</li> <li>○模擬経営（農業経営演習）における、効果あるものにするため、自己ほ場、自己収入方式等についての検討を願う。</li> </ul>
	進路指導	個々に適した進路選択・実現と円滑な就農の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>○親元就農が一番経営として成り立ちやすい。まずは親元就農に対する支援が必要である。また、独立自営を目指す学生が、農業経営者から経営移譲を受けることも考えてもらいたい。</li> </ul>
学校運営		農大魅力発信と学生募集のPRを更に充実する	<ul style="list-style-type: none"> <li>○農業高校との連携推進について、効果的な取り組みをしている。農業高校時代から進路を考えないと農大に来て難しいのではないかと推進していただきたい。</li> <li>○農高・農大連携について、本年度具体的な動きができ、来年には体験入学・法人説明会が開催される。農高としても多くの生徒が就農できるようしたいと考えている。</li> </ul>
		ホームページの充実を図る	<ul style="list-style-type: none"> <li>○テレビ、新聞等で農大の活動状況が取り上げられている。積極的に進めてもらいたい。またネットでの情報発信も重要であるのでホームページを活用してほしい。合わせて「長野県農業の魅力」を同時に連携して発信してもらおうようお願いする。</li> </ul>